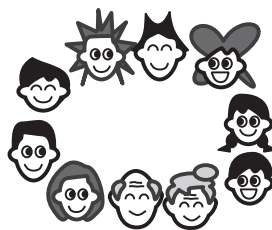


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

N P O 法 人
訪問歯科診療
を広める会
賛 助 会 員



令和7年9月号

発行人 津谷歯科医院

院長 津谷 良

住所 岡山市中区海吉1807-14

紙面にに関するお問い合わせは下記まで

電話 0120-779-418

配信代行 訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

要介護の方にとって、毎日の口腔ケアは大変です。その困難さから歯周病やむし歯は放置されがちとなり重症化しやすいため、定期的な歯科による口腔管理が必要です。しかし歯科の口腔ケアを定期的に受けている在宅療養者は少なく、『炎症が悪化した残根の放置』や『清掃不良による重度の歯周病』『傾斜や残根による口腔粘膜損傷』等をきっかけに抜歯となります。全国規模の調査から、歯周病が抜歯原因として最も多く約4割、次にむし歯が約3割、そして歯の破折が約2割です。破折の多くは、むし歯が進行したため神経を取ったものです。要介護者の抜歯にあたっては、全身状態や服薬状況、介護環境等、特有のリスクや注意点があります。そこで今回は『抜歯の注意点』についてご紹介します。



1. 抜歯の前に・・・

要介護者の15～30%は、血液をサラサラにする抗血小板剤や抗凝固剤を服薬していますので、そのまま抜歯すると止血困難となります。また骨粗しょう症の骨吸収抑制剤を服薬している方の場合、抜歯により顎骨壊死のリスクがあるため、抜歯前には主治医と連携して、全身状態と服薬状況の確認をします。

2. 抜歯後の注意点

①ガーゼでしっかり止血する

清潔なガーゼやティッシュを傷口より少し大きく硬めに丸め、傷口にのせてしっかりと圧迫することが重要です。10～15分程度しっかり噛みしめてください。ガーゼやティッシュが小さいと十分な圧迫力が得られず、止血効果が低下します。また要介護者は嚥下機能が低下していることが多いため、ガーゼや止血材料等の誤嚥防止に十分注意してください。

②安静に過ごす

飲酒、長風呂、激しい運動は避けましょう。これらの行動をすると、血行が良くなり出血してしまう場合があります。できればお風呂はシャワー浴で済ませるよ

うにしてください。

③傷口への刺激・過度なうがいは厳禁

強くうがいをする、抜歯した部分の傷口にできた血餅という血の塊がはがれてしまい再出血してしまうので、うがいは優しくしましょう。また、歯磨きの時に歯ブラシで傷口を刺激しないように注意しましょう。抗血小板剤や抗凝固剤を服薬している方は特に注意が必要です。

④食事はやわらかく常温が基本

傷口に刺激を与えないよう、硬いもの・熱いもの・辛いものは避けてください。

3. 抜歯後に出血が止まらない場合

①抜歯後と同じように、ガーゼやティッシュをしっかりと噛んで圧迫して20～30分止血します。

②抜歯した辺りの頬を冷たいタオルで冷やすと、血流が抑えられて効率よく止血できます。

再出血の原因は、うがい、歯磨き、舌等で傷口の血餅をはがしてしまうことが多いです。出血がとまらない、どくどくと流れるような出血が続く場合は、速やかに歯科医院へ相談してください。

◆ 歯周病とむし歯が抜歯の原因です。定期的に歯科を受療しましょう ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって



ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、『いつもお元気でいいですね』って話をしていたのに・・・そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間

9:00～12:30/14:00～18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目

歯科 小児歯科

休診日

木曜・日曜・祝祭日

院長

津谷 良

岡山市中区海吉1807-14



0120-779-418



0120-779-413